

地方独立行政法人静岡市立静岡病院
第1期中期目標期間業務実績（見込）に関する
評価書

平成30年8月

静岡市

目 次

第1項 全体評価

(1) 評価結果	・ ・ ・ ・ ・	1
(2) 評価理由	・ ・ ・ ・ ・	1

第2項 項目別評価

(I) 小項目評価

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 地域医療を支える要としての静岡病院	・ ・ ・	3
2 医療の質の向上と人材の確保	・ ・ ・	1 5
3 医療の安全性と信頼性の向上	・ ・ ・	2 3
4 利用しやすく快適な病院づくり	・ ・ ・	2 8
5 市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流	・ ・ ・	3 1

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり	・ ・ ・	3 5
2 業務運営体制の構築	・ ・ ・	3 9

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 健全経営の維持	・ ・ ・	4 6
-----------	-------	-----

第4 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとるべき措置

1 地球環境に配慮した病院経営	・ ・ ・	5 2
-----------------	-------	-----

《資料》

▶ 地方独立行政法人静岡市立静岡病院の業務実績評価に係る基本方針	・ ・ ・	5 5
▶ 地方独立行政法人静岡市立静岡病院の中期目標期間見込評価に係る実施要領	・ ・ ・	5 8

第1項 全体評価

(1) 評価結果

「中期計画の達成に向けて順調に進捗しており、中期目標の期間の終了時において、全体として中期目標の達成が見込まれる。」と評価する。

(2) 評価理由

中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績評価に関し、中期計画の達成状況の調査及び分析を行い、これらの結果を考慮して業務の実績の全体について、評価委員会から意見聴取を行ったうえで総合的な評価を行った。

平成28年度は、独法移行初年度であったものの、医療の質の向上と人材確保に向けた取組等について年度計画を上回って実施するなど、すべての大項目が評価Aとなり、一定の成果があったものと評価した。

また、特筆すべき点として、多くの自治体病院が赤字経営である中、決算で黒字を実現するなど、安定的な経営の維持に向けた取組は高く評価できるものであった。

29年度においては、中期計画の実現のためにはやや遅れているとの評価となった項目が一部であったものの、高度医療や関係機関との連携に関する取組などは計画を上回って実施しており、全体として、地方独立行政法人としてのメリットを十分に生かし、また、諸課題の克服に向けて積極的に取り組まれたことは高く評価できるものであった。

こうした評価結果を考慮し、中期目標の期間の終了時に見込まれる業務の実績としては、総じて中期計画どおりに進捗していること、また、静岡病院の特徴であるハートセンター等において実施する高度医療、病院が一体となった臨床研修医の育成、医療・保健・福祉・介護関係機関との積極的な連携の取組は、計画を上回った実施となる見込みであることから、総合的な評価として、上記のとおり「中期計画の達成に向けて順調に進捗しており、中期目標の期間の終了時において、全体として中期目標の達成が見込まれる。」と評価したものである。

静岡病院が、市民病院として、市民が必要とする高度で良質な医療を安定的、継続的に提供するという公的使命を果たすべく、今後も一層、各種施策に意欲的に取り組まれることを期待するものである。

第2項 項目別評価

(I) 小項目評価

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 地域医療を支える要としての静岡病院

(1) 広大な市域を支える要としての活動

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	中山間地を含む広大な市域を有する本市において、市民が安心して日々の生活を送るため、都市部や中山間地の住民が等しく医療についての理解を深める活動を行うこと。 また、将来を担う若者を対象に、医療及び医療職に対する理解を深める活動を行うこと。
------	--

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
本市の都市部及び中山間地域において、「静岡市民『からだ』の学校」を開催し、市民へ医療情報を発信します。 また、教育関係機関と連携しながら生徒に対しても情報提供を行い、医療及び医療職についての理解を促進します。 上記について専門的に対応する部署として「医療がつなぐ『ひと』と『地	- 市民が自らの「からだ」や病気の仕組みを理解する場として「静岡市民『からだ』の学校」を開催 H28 及び H29 の実績 都市部（グランシップ開催）2回 山間部（各生涯学習交流館）3回 - 学生向けの医療体験セミナーを開催 中学生対象（ブラックジャックセミナー、ナース体験） 高校生対象（こころざし育成セミナー、ナース体験） - 当院の医師が市内の中学校に出向き直接授業を行う、	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

域』の交流センター」を設置します。	文部科学省推進モデル事業「がん教育」を教育委員会との連携により実施。 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。																		
【関連指標】 <table><tr><th>項目</th><th>H28 実績</th><th>H29 実績</th><th>H30 実績</th></tr><tr><td>静岡市民「からだ」の学校開催</td><td>都市部2回 山間部3回</td><td>都市部2回 山間部3回</td><td></td></tr><tr><td>中高生の病院体験セミナー開催</td><td>高校生1回 中学生2回</td><td>高校生1回 中学生2回</td><td></td></tr><tr><td>中学生を対象とした職場体験学習</td><td>5名</td><td>17名</td><td></td></tr></table>		項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績	静岡市民「からだ」の学校開催	都市部2回 山間部3回	都市部2回 山間部3回		中高生の病院体験セミナー開催	高校生1回 中学生2回	高校生1回 中学生2回		中学生を対象とした職場体験学習	5名	17名			
項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績																
静岡市民「からだ」の学校開催	都市部2回 山間部3回	都市部2回 山間部3回																	
中高生の病院体験セミナー開催	高校生1回 中学生2回	高校生1回 中学生2回																	
中学生を対象とした職場体験学習	5名	17名																	

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 地域医療を支える要としての静岡病院

(2) 救急医療

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	地域の救急医療を担う中核的な病院として、本市の救急医療体制のもと、他の医療機関と連携しながら、引き続き 365 日 24 時間の「ことわらない救急」を実践し、市民が安心できる救急医療を提供すること。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
他の医療機関と連携しながら 365 日 24 時間の「ことわらない救急」を継続します。 また、高度な救急医療の提供のために、新たに「救急科」を設置します。	・救急科（H28 年 4 月新設）を中心に、「ことわらない救急」をモットーとして、365 日 24 時間体制で質の高い救急医療を提供。 ・市内公的病院輪番制 2 次救急医療（当番日）の実績 H28（内科 83 日、外科 85 日、小児科 47 日） H29（内科 81 日、外科 88 日、小児科 43 日） ・救急搬送患者数の受け入れ実績（H28 年度、H29 年度）は、市内公的病院の中で当院が最も多い。 ・受け入れ率の向上に努め、不応需事例などについて救急業務委員会（医師、看護師、事務など多職種で構成）	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

	を開催し検討。 ・他病院に比べ当院の「救急医療係数」は高い数値を維持しており、救急で重症な患者をより多く受け入れている。 ・救急救命士の実習受入施設として指導を行い、地域の救急医療を担う人材の育成に貢献。 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。																											
【成果指標】 <table><tr><th>項目</th><th>H28 実績</th><th>H29 実績</th><th>H30 目標</th><th>H30 実績</th></tr><tr><td>救急搬送患者数の市内公的病院全体の中で当院が占める割合</td><td>21.3%</td><td>21.1%</td><td>23.0%以上</td><td></td></tr></table> 【関連指標】 <table><tr><th>項目</th><th>H28 実績</th><th>H29 実績</th><th>H30 実績</th></tr><tr><td>救急患者数</td><td>13,523 人</td><td>13,353 人</td><td></td></tr><tr><td>救急車搬送数</td><td>5,894 人</td><td>6,161 人</td><td></td></tr></table>					項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績	救急搬送患者数の市内公的病院全体の中で当院が占める割合	21.3%	21.1%	23.0%以上		項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績	救急患者数	13,523 人	13,353 人		救急車搬送数	5,894 人	6,161 人			
項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績																								
救急搬送患者数の市内公的病院全体の中で当院が占める割合	21.3%	21.1%	23.0%以上																									
項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績																									
救急患者数	13,523 人	13,353 人																										
救急車搬送数	5,894 人	6,161 人																										

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 地域医療を支える要としての静岡病院

(3) 高度医療

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
4	4		4	

中期目標	本市の基幹病院として、高度医療を提供する必要があるが、特に次の点について重点的に取り組むこと。 ①心疾患 「心臓なら静病」という市民の期待にしっかり応えるため、「ハートセンター」において、地域の心疾患治療を牽引する専門性の高い先進的な治療を行うこと。 ②がん 地域がん診療連携拠点病院として、日進月歩の様々な治療方法に的確に対応した先進的で質の高いがん治療を行うこと。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
本市の基幹病院として、高度医療を提供する必要がありますが、特に次の点について重点的に取り組みます。①心疾患 「ハートセンター」において、循環	・ハートセンター（循環器内科、心臓血管外科）による最先端の心疾患、血管疾患の治療（TAVI、ステントグラフト、カテーテルアブレーション）を実施。 ・高度医療機器（アンギオグラフィーなど）の更新や増設（症例数増加への対応）など、円滑な導入に必要な検	4	4	心疾患においては、H28、H29 実績として、TAVI 等の高度で先進的な治療を実施し、また、がんについては、最新の

器内科と心臓血管外科が連携して、従来から高い実績を持つ心臓血管手術やカテーテル治療などの幅広い専門的な治療を行うとともに、ＣＴや血管造影を行いながら手術ができるハイブリッド手術室や経カテーテル大動脈弁置換術（ＴＡＶＩ）などによる先進的な医療を行います。 ②がん 手術支援ロボット「ダヴィンチ」による前立腺がん手術以外への新たな展開や「リニアック」による放射線治療を継続して実施します。 また、新たにＰＥＴ－ＣＴの導入により画像診断の充実を図るなど、がん診療体制を強化していきます。	討会議（スケジュール・工法など）を実施。 ・疾患別ネットワークによる病診連携、病病連携の推進。 ・最新の放射線治療装置、手術支援ロボット（ダヴィンチ）による質の高いがん治療の提供。 ・PET／CT の導入及び安定的な稼動（H29 年4月～） ・H30 年度中に PET／CT の利用拡大（検診対象者）に向けて取り組みを継続 ・緩和ケア内科を新設するなど患者に寄り添った治療の提供 ・子宮頸がん検診、HPV 検査など、予防医学としてのがん検診の充実（H29 年 4 月～） 以上の取り組み及び成果や、平成30年度実施予定の事業等により、中期計画の達成に向けて計画を上回って実施しているものと考えられる。		放射線治療や手術支援ロボットによる質の高い医療を提供し、いずれも本市の基幹病院としての役割を十分に果たしている。これらについては、H30 も継続して実施予定であり、中期計画の達成が見込まれる。 さらに、高度医療に含むかという議論はあるものの、新規に緩和ケア内科の設置や子宮がん検診充実に係る取組を実施したことを評価し、評価「4」が適当である。																																
【関連指標】 <table><tr><th>項目</th><th>H28 実績</th><th>H29 実績</th><th>H30 実績</th></tr><tr><td>心臓血管外科</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>手術総数</td><td>870 件</td><td>850 件</td><td></td></tr><tr><td>開心術</td><td>375 件</td><td>367 件</td><td></td></tr><tr><td>循環器内科</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>心臓カテーテル検査</td><td>2,596 件</td><td>2,540 件</td><td></td></tr><tr><td>冠動脈インターベンション</td><td>477 件</td><td>469 件</td><td></td></tr><tr><td>ＴＡＶＩ</td><td>22 件</td><td>37 件</td><td></td></tr></table>				項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績	心臓血管外科				手術総数	870 件	850 件		開心術	375 件	367 件		循環器内科				心臓カテーテル検査	2,596 件	2,540 件		冠動脈インターベンション	477 件	469 件		ＴＡＶＩ	22 件	37 件	
項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績																																
心臓血管外科																																			
手術総数	870 件	850 件																																	
開心術	375 件	367 件																																	
循環器内科																																			
心臓カテーテル検査	2,596 件	2,540 件																																	
冠動脈インターベンション	477 件	469 件																																	
ＴＡＶＩ	22 件	37 件																																	

【関連指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
前立腺がん手術件数	52 件	63 件	
がん手術件数	994 件	947 件	
放射線治療件数	254 件	264 件	
疾病分類別（新生物(悪性)）入院 患者数	2,444 件	2,298 件	

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 地域医療を支える要としての静岡病院

(4) 政策医療

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	公的病院として、市民ニーズに応じて採算性にかかわらず必要な医療を提供していかなければならないが、特に次の点について重点的に取り組むこと。 ①感染症及び精神疾患患者身体合併症 本県で唯一の第一種感染症指定医療機関としての役割を果たすとともに、精神疾患患者の身体合併症に対応する医療を提供すること。 ②周産期及び小児 本市で子どもを安心して産み育てることができるよう、専門的な周産期医療や小児医療を提供すること。 ③生活習慣病 超高齢社会の到来に伴い、患者数の増加が予想される糖尿病等の生活習慣病などに対して専門的な医療を提供すること。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
公的病院として、市民が日々安心して暮らすために必要な医療を提供していかねばなりません、特に次の点について重点的に取り組みます。 ①感染症及び精神疾患患者身体合併症 本県で唯一の第一種感染症指定医療機関であり、また、本市において重要な役割を担う第二種感染症指定医療機関であるため、その役割を果たせるようエボラ出血熱などの感染症患者にも対応できる医療体制を確保し、迅速な患者の受け入れに備えるとともに、精神疾患患者の身体合併症治療を行います。 ②周産期及び小児 本市で子どもを安心して産み育てることができるよう、専門的な周産期医療や小児医療を提供します。 ③生活習慣病 糖尿病、動脈硬化、高血圧症などの生活習慣病について、幅広く専門的な医療を提供するとともに、講習会などの予防に係る啓発活動も行います。	・第一種感染症指定医療機関として受け入れ体制の維持に努め、設備の保守点検、備品類の補充、防護服の着脱訓練及び関係機関との連携による訓練などを実施。 ・精神疾患患者に対し救急対応を含め身体面、精神面を併せた迅速かつ適切な医療を提供。 ・分娩件数は年間約 300 件、母体合併症などのハイリスク症例への対応など、地域の周産期医療体制の維持に貢献。 ・糖尿病や高血圧症などの生活習慣病について、治療だけでなく管理栄養士による食事指導や地域市民への公開講座など、予防啓発活動を実施。 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

【関連指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
小児科患者数			
入院	2,374 件	2,451 件	
外来	4,603 件	4,928 件	
分娩件数	311 件	261 件	

【関連指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
栄養指導件数	3,121 件	3,582 件	

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 地域医療を支える要としての静岡病院

(5) 災害時医療

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
4	3		3	

中期目標	南海トラフ巨大地震等の発生が想定される中、静岡病院には災害時における重症患者の受け入れ等の中核的な医療の提供が求められる。 災害拠点病院として、日頃から、その発生に備え、人的・物的資源を整備し、訓練を行い、発生時には関係機関と連携しながら、また自らの判断で必要な対応を迅速に行うこと。
------	--

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
a 地震防災対策マニュアル等について病院機能の損失度に応じた見直しを行うとともに、災害対応の訓練を日頃から行い、発生時においては、関係機関と連携しながら、また自らの判断のもと、必要な医療救護活動を迅速に実施します。 b 非常電源や水源の確保など災害時に必要となる施設・機器の更新や維持	・災害を想定した総合防災訓練、全職員一斉メールによる伝達訓練の実施。 ・医薬品や備蓄食料等の定期点検及び補充 ・マニュアルの見直し改善など ・災害拠点病院に策定が義務付けられているBCP（事業継続計画）の作成 ・熊本地震（H28年4月）の際に当院DMAT（災害派遣医療チーム）が約1週間被災地で活動。 ・政府主導大規模訓練へのDMATの参加	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

管理を行うとともに、医薬品や医療資器材、食料の必要な備蓄等を行います。	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。		
c 市外における大規模災害発生時の援助要請に応えられるよう、引き続き災害医療派遣チーム（DMAT）を編成します。			
d 大規模災害発生時等に災害現場等から重症患者を受け入れるため、ヘリポートの設置可能性を検討します。			

【関連指標】			
項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
防災訓練	4回	2回	
研修など	4回	4回	

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
DMAT 訓練回数	3回	4回	

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療の質の向上と人材の確保

(1) 総合的な診療とチーム医療の実施

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	医療の高度化、複雑化に対応し、より患者に寄り添った治療を行うため、診療科や職種を超えた連携により、総合的な診療とチーム医療を提供すること。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
患者一人ひとりに最適な専門医療を提供するため、診療科や職種の枠を超えた連携により、総合的な診療とチーム医療を推進するとともに、そのための医療スタッフの養成に取り組めます。	- 複数の診療科の共同診療による質の高い医療の提供 ハートセンター（心臓血管外科、循環器内科） 消化器総合センター（消化器内科、消化器外科） - 多職種で構成される専門性を生かしたチーム医療の実践（呼吸サポートチーム、褥瘡対策チームなど） 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

【関連指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
心臓リハビリ件数	731 件	807 件	
栄養サポートチーム 回診件数	89 件	62 件	
緩和ケアチーム 対応患者数	59 人	88 人	

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療の質の向上と人材の確保

(2) 先進医療機器や設備の整備

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	医療の高度化への対応や、医療水準を維持するために、先進医療機器や設備等を的確に整備・更新すること。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
a 新たな医療機器の開発状況、他の医療機関における状況などを踏まえて、PET-CTなどの先進医療機器を整備します。 b 医療機器・施設の稼働状況や耐用年数、他の医療機関における状況などを踏まえて、アンギオグラフィ（血管撮影装置）や付帯設備の更新など、医療機器や施設を整備・更新します。	・先進医療機器としてPET/CTを導入（H29年4月） ・医療機器の整備更新（乳房X線撮影装置、人工心肺装置、外科手術用顕微鏡システム、内視鏡ビデオシステムなど） ・施設整備（手術室ヘパフィルター交換など） 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療の質の向上と人材の確保

(3) 医療職の確保、知識の習得、技術の向上

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
4	3		3	

中期目標	医師、看護師等の医療職を確保するとともに、医療の高度化、複雑化に対応するため、その専門性や技術の向上を図ること。
------	--

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
a 地方独立行政法人の特徴を生かし、従来の定数管理や雇用形態・勤務形態にとらわれず、多様な雇用形態等を取り入れ、必要な時に必要な医療職を確保します。 b 医師、看護師、薬剤師、医療技術者等について、院内研修の充実や研究・研修会への参加を促進するとともに、専門資格取得のため、院外の教育研修等への参加を支援します。 c 静岡市立看護専門学校等との連携を図り、優れた看護師の養成を支援しま	・新専門医制度への対応として、専門研修プログラム（内科・外科）の作成、院内・院外の初期研修医への説明会の実施、さらに、リクルートイベントなどに当院の医師が直接出向き丁寧な説明を実施。 ・採用試験を随時実施することにより現場の診療体制に配慮した適切なタイミングでの人員を確保。 ・看護師を安定的に確保することにより、7対1看護配置体制を計画より前倒しで実現（H29年4月→H28年8月） ・ワークライフバランスの実現に向け、「正規短時間勤務制度」を実施 ・看護学生（静岡看護専門学校、常葉大学など）を受	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

す。	け入れ、経験豊富な指導者による効果的な看護実習を実施。 ・法人として資格取得に必要な支援を行い、認定看護師を養成。 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。			
【成果指標】				
項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績
7 対 1 看護配置に向けた 看護師の増員数 (H25 年度比)	65 人	53 人	90 人	人
【関連指標】				
項目	H28 年 4 月 1 日	H29 年 4 月 1 日	H30 年 4 月 1 日	
医師数	150 人	158 人	154 人	
看護師数	496 人	484 人	523 人	
項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績	
専門医資格取得数	151 件	177 件	件	
指導医資格取得数	65 件	72 件	件	
認定看護師数（人）	9 人	2 人	人	
看護実習受入人数	213 人	295 人	人	

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療の質の向上と人材の確保

(4) 臨床研修医の育成

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
4	4		4	

中期目標	臨床研修病院として、ニーズに合致した魅力的なプログラムの構築等により教育研修機能の充実を図り、臨床研修医の育成に積極的に取り組むこと。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
研修医の要望や社会的な要請に合致した研修プログラムの充実、研修プログラム及び指導医・研修医に対する評価による研修内容のさらなる向上により、臨床研修医の受け入れ推進と定着を図ります。	・模擬実習が可能なシミュレーションラボの活用 ・研修支援プログラムの充実 ・成果指標である「臨床研修医募集定員充足率」は2年連続 100%を達成 ・募集定員を大幅に超える人数の申込み実績。(募集定員 13 名に対し、申込者数 H28 実績 40 名、H29 実績 30 名) 以上の取り組み及び成果や、平成30年度実施予定の事業等により、中期計画の達成に向けて計画を上回って実施しているものと考えられる。	4	4	臨床研修医の育成等に関し、病院内の臨床研修運営委員会等で取組内容を検討し、研修支援プログラムの充実や模擬実習が行えるシミュレーションラボの活用による研修医育成に係る取組を実施した。また、リクルートイベントにも積極的に参加し、病院が一体となって各種取組を行った結

				果、昨今の臨床研修医確保が困難な状況において、2年連続で募集定員に対しフルマッチングできたことは大きな成果である。H30においても、引き続き各取組の実施が予定され、中期計画期間全体において計画以上の達成が見込まれることから、評価「4」が適当である。
【成果指標】				
項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績
臨床研修医募集定員充足率	100%	100%	100%	
【関連指標】				
項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績	
臨床研修医マッチング数	13 人	13 人	人	

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

2 医療の質の向上と人材の確保

(5) 調査・研究、治験の実施

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	より質の高い医療を提供するための調査・研究、治験に積極的に取り組むこと。
------	--------------------------------------

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
新しい治療法の開発等に貢献する臨床研究や治験に積極的に取り組みます。 なお、実施にあたっては、参加者の自発的意思や人権に対して最大限配慮いたします。	・臨床研究及び治験の推進に向けて各委員会での審議等を実施。H29 治験審査委員会（9回開催、件数177件）。H29 医療倫理審査委員会（本審査5回、迅速審査12回、件数47件） 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。
【関連指標】				
項目		H28 実績	H29 実績	H30 実績
治験実施件数		6 件	5 件	
治験実施率		79%	83%	

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

3 医療の安全性と信頼性の向上

(1) 十分な情報提供と適切な取扱い

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	患者との信頼関係の構築に努め、患者への十分な情報提供・説明と同意のもとに医療を提供すること。 診療情報を適切に管理するとともに、患者情報の保護及び病院に係る情報の公開に関しては、静岡市個人情報保護条例及び静岡市情報公開条例に基づき適切に対処すること。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
a 常に患者やその家族の立場に立ち、誠意を持った対応を心がけるとともに、医療の提供に当たっては、インフォームドコンセント（患者へ診療の目的や内容を十分に説明し、その同意を得ること）を徹底します。また、患者やその家族が、治療法等の判断に当たり主治医とは別の医師の意見を求め	・患者さんへの丁寧な説明やインフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオン外来による他院への紹介などを実施 ・病気や治療について患者の理解を促進するため、薬の使い方やインフルエンザなどの身近なテーマについて講演を行う「出前講座」の実施や、静岡市民「からだ」の学校（都市部 2 回、地域版 3 回）を開催 ・患者の会（心臓病友の会、糖尿病友の会、消化器病友	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

たとき、適切にセカンドオピニオン（患者及びその家族が、病状や治療法等について、主治医とは別の専門医に意見を聴くこと）を受けられる体制の整備を行います。 b 定期的な市民公開講座や、「患者の会」への医師等による講演、医療相談等を実施し、疾病に係る患者理解を促進するとともに、病院と患者との信頼関係の醸成を図ります。 c 患者情報に係る保護及び病院に係る情報の公開については、市の関連条例の実施機関として、適切に取り扱います。	の会）が主催する講演会などに当院の医師が出席するなど、医師と患者との信頼関係の構築に努めた。 ・患者の個人情報について、市の条例やマニュアルに基づき適切に運用 ・個人情報保護委員会にてマニュアル改善などを実施 ・個人情報保護制度などの理解を深めるため担当職員が外部の専門研修を受講 以上の取り組み及び成果などにより、平成３０年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。																								
【関連指標】 <table><tr><th>項目</th><th>H28 実績</th><th>H29 実績</th><th>H30 実績</th></tr><tr><td>セカンドオピニオン件数</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td> 受入</td><td>29 件</td><td>28 件</td><td></td></tr><tr><td> 紹介</td><td>42 件</td><td>65 件</td><td></td></tr><tr><td>診療録開示件数</td><td>58 件</td><td>48 件</td><td></td></tr></table>				項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績	セカンドオピニオン件数				受入	29 件	28 件		紹介	42 件	65 件		診療録開示件数	58 件	48 件			
項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績																						
セカンドオピニオン件数																									
受入	29 件	28 件																							
紹介	42 件	65 件																							
診療録開示件数	58 件	48 件																							

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

3 医療の安全性と信頼性の向上

(2) 医療安全管理等の徹底

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	市民に信頼される安心・安全な医療を提供するため、医療安全に係る情報の収集・分析を踏まえた医療安全管理を行うとともに、院内感染防止対策を実施すること。
------	--

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
医療安全管理室が中心となって、医療安全に係る情報収集及び分析、改善案の立案、院内教育研修などの医療安全管理を行うとともに、感染管理室が中心となって、感染症に係る情報収集及び分析、院内の調査・監視などの院内感染防止対策を実施します。	・職員に医療安全の重要性等を周知するため、定期的に委員会及び研修会を実施 ・入院患者等を対象に転倒予防体操の実技指導を実施 ・院内感染対策の重要性等を周知するため定期的に委員会及び研修会を実施 ・感染管理システムの導入による情報の一元管理を実施 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

【関連指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
医療安全管理委員会開催回数	12 回	12 回	
医療安全研修会等実施回数	15 回	15 回	
院内感染対策委員会開催回数	17 回	12 回	
院内感染対策研修会等実施回数	8 回	11 回	
院内ラウンド件数	週 1 回	週 1 回	

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

3 医療の安全性と信頼性の向上

(3) 市民への積極的な広報

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	病院の役割や機能、経営状況などについて、市民にわかりやすく情報提供すること。
------	--

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価													
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等												
病院の理念・基本方針、各診療科の特色や治療実績、クリニカルインディケーター、財務諸表等の経営状況などについて、病院ウェブサイトや静岡病院広報紙などを通じて、市民にわかりやすく広報します。	・病院ウェブサイトについて、スマートフォン対応、メンテナンス向上、デザイン面など、多様化している近年のウェブサイトに沿った形に全面リニューアルを実施 ・病院の診療データや経営指標等の公表 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。												
【関連指標】																
<table><tr><th>項目</th><th>H28 実績</th><th>H29 実績</th><th>H30 実績</th></tr><tr><td>静岡病院広報紙</td><td>6 回</td><td>6 回</td><td></td></tr><tr><td>年報</td><td>1 回</td><td>1 回</td><td></td></tr></table>			項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績	静岡病院広報紙	6 回	6 回		年報	1 回	1 回			
項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績													
静岡病院広報紙	6 回	6 回														
年報	1 回	1 回														

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

4 利用しやすく快適な病院づくり

(1) 患者第一の病院づくり

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	患者の立場を第一に考え、患者に寄り添った医療の実践に向け、医療サービスの提供や施設等の整備に当たっては、患者の視点に立つて行うこと。
------	--

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
病院の基本方針として、患者にとって最善の全人的医療を実践する旨を掲げるとともに患者の権利を明示し、これらに基づいて患者の立場を常に意識しながら医療サービスの提供や病院施設等の整備を行います。	・各所属及び定例会議等での基本理念・基本方針の復唱、院内掲示、全職員の名札への表示など、患者の立場を意識した医療の提供を心がけるよう周知徹底を図った。 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

4 利用しやすく快適な病院づくり

(2) 患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	2		3	

中期目標	提供する医療や病院環境に係る患者ニーズを把握して、そのニーズに対応し、患者にとって利用しやすく快適な病院づくりを進めること。
------	--

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
a 患者満足度調査などによって患者ニーズを把握し、そのニーズを満たすために必要な改善を行います。 b 患者にとって利用しやすい病院環境を確保するため、待ち時間調査を実施し、待ち時間を短縮できる方策を検討するとともに、待ち時間をなるべく有意義に過ごしてもらえよう、診察待ちの患者さんに対し体操指導を行うなど、改善に向けた取り組みを実施します。 c 胆石摘出など短期間の入院が見込まれる患者が、入院治療をもっと身近に利	- 患者満足度調査を実施するとともに、調査項目の見直しを行うなど患者ニーズの適正な把握に努めた。 - 外来処方箋の運用方法を見直し、会計待ち時間の短縮を図った。 - デザインの専門学生の協力による外来スペースへのフラワーアレンジメントの提供。 - 行政機関や業者との連携により、メンテナンスフリー切り花を設置（院内33箇所）し、安らぎの空間を提供。 - 病院全体の接客能力の向上を図るため、全職員（パート、委託含む）に対し、外部講師による接客研修を実施。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

用できるよう、患者が利用しやすい診療体制や運用方法を管理する専門部署の設置について検討を進めます。 d 患者にとって快適な病院環境を確保するため、花や緑による緑化など、安らぎの空間を院内に整備します。 e 市民から信頼される病院であり続けるため、職員一人ひとりが患者の立場に立った接遇の実践ができるよう病院の全職員を対象とした接遇研修を毎年実施します。	以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。																								
【成果指標】 <table><tr><td>項目</td><td>H28 実績</td><td>H29 実績</td><td>H30 目標</td><td>H30 実績</td></tr><tr><td>患者満足度調査結果（概ね満足と回答した割合）</td><td>90.6%</td><td>88.7%</td><td>90.0%以上の維持</td><td></td></tr></table> 【関連指標】 <table><tr><td>項目</td><td>H28 実績</td><td>H29 実績</td><td>H30 実績</td></tr><tr><td>医療相談件数</td><td>6,740 件</td><td>5,090 件</td><td></td></tr><tr><td>患者意見件数</td><td>179 件</td><td>203 件</td><td></td></tr></table>		項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績	患者満足度調査結果（概ね満足と回答した割合）	90.6%	88.7%	90.0%以上の維持		項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績	医療相談件数	6,740 件	5,090 件		患者意見件数	179 件	203 件			
項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績																					
患者満足度調査結果（概ね満足と回答した割合）	90.6%	88.7%	90.0%以上の維持																						
項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績																						
医療相談件数	6,740 件	5,090 件																							
患者意見件数	179 件	203 件																							

第 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

5 市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流

(1) 市立病院としての市との連携

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	市民が必要とする高度で良質な医療を安定的、継続的に提供するという公的使命を果たして行くため、市と連携して事業を進めること。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
市と連携しながら、市目標に基づく計画の策定、計画の実行、市評価委員会による評価、評価に基づく改善などのPDCAサイクルによる経営管理を実践してまいります。	- 市が指示した法人が達成すべき目標に基づき、中期計画を策定し業務を遂行した。 - 平成 28 年度の業務実績について、評価委員会へ出席し説明等を行うとともに、市からの評価結果報告を受け、評価の内容を法人の理事会及び院内会議等で周知した。 以上の取り組み及び成果などにより、平成 30 年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

5 市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流

(2) 医療・保健・福祉・介護関係機関との連携

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
4	4		4	

中期目標	患者の疾病状況に応じた的確な医療の提供に向け、静岡病院の高度急性期病院及び地域医療支援病院としての役割を踏まえながら、本市医療機関の連携・ネットワークの一員として、清水病院、他の医療機関、医師会と連携し、病病連携及び病診連携を推進するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向け保健・福祉・介護関係機関と連携すること。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
a 高度急性期病院及び地域医療支援病院としての静岡病院の役割を踏まえ、救急の対応や、「イーツーネット(疾病別病診連携システム)」の活用による診療所からの紹介患者の受け入れ、逆紹介などについて、他の医療機関や医師会と連携しながら取り組みます。 b 他病院と互いに協力・補完しあい、疾患ごとの連携の強化や、患者のその	・病診連携を推進するため、オープンシステム(開放型病院)、病診がんカンファレンス(年12回開催)など地域の医療機関と顔の見える連携に取り組んだ。 ・市医師会との間で疾患別病診連携システム「イーツーネット」などを推進。 ・他の公的病院及び行政機関と連携を図るための合同会議等へ出席(病院長定例会、事務部局長連絡会、看護部長連絡会、静岡地域医療構想調整会議、静岡県病院協会など)。	4	4	医療機関との連携に関して、H28、H29ともに、疾患別病診連携システムである「イーツーネット」の整備等を通じて、地域の診療所等との関係構築を図るとともに、オープンシステムや病診がんカンファレンス等の取

時々の病態にあった入院治療の効率的な提供など、病病連携の推進に努めるとともに、静岡市公的病院協議会における情報交換等により、他の市内公的病院との連携に取り組んでまいります。 c 地域包括ケアシステムの中で急性期医療を担い、退院後患者が住み慣れた地域で生活していくために、診療所、訪問看護ステーション、ケアマネジャー、在宅介護サービス事業者など多職種の関係者と連携を図ります。	・成果指標の「紹介率」、「逆紹介率」は、平成 28 年度及び平成 29 年度の目標値をそれぞれ上回った。 以上の取り組み及び成果や、平成 30 年度実施予定の事業等により、中期計画の達成に向けて計画を上回って実施しているものと考えられる。		組を行い、病診連携を推進した。また、他の公的病院や行政等とも、各種会議において、情報交換・交流に努め、積極的に連携を図っている。 結果、H28、H29 では、目標を上回る紹介率、逆紹介率となり、H30 も各種取組を実施することで、中期計画期間全体において計画以上の達成が見込まれることから、評価「4」が適当である。																
【成果指標】 <table><tr><td>項目</td><td>H28 実績</td><td>H29 実績</td><td>H30 目標</td><td>H30 実績</td></tr><tr><td>紹介率</td><td>74.4%</td><td>76.5%</td><td>60%以上</td><td></td></tr><tr><td>逆紹介率</td><td>107.1%</td><td>103.5%</td><td>80%以上</td><td></td></tr></table>			項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績	紹介率	74.4%	76.5%	60%以上		逆紹介率	107.1%	103.5%	80%以上			
項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績															
紹介率	74.4%	76.5%	60%以上																
逆紹介率	107.1%	103.5%	80%以上																

第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

5 市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流

(3) 国内外医療関係機関との交流

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	医療の高度化、複雑化、ボーダーレス化に的確に対応するため、国内外の医療関係機関と交流し、情報交換等を行うこと。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
学会等を通じて他の医療機関との連携を深め、また、国際協力機構（JICA）等を通じて視察団を受け入れるなど、海外医療機関とも積極的に交流します。	・市外及び県外の医療機関と連携を図るための会議等へ出席（全国自治体病院学会、全国地方独立行政法人病院協議会、大都市感染症指定機関会議、地方独立行政法人（近畿地区）実務者情報交換会など） 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり

(1) 働きやすい職場環境の整備

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	4		3	

中期目標	職員のワーク・ライフ・バランスの推進、メンタルヘルスを含めた健康管理の実施、職場の安全衛生の確保などの職場環境の改善に努め、「働きやすい病院」にすること。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
職員のワーク・ライフ・バランスに配慮した多様な雇用形態・勤務形態の導入や、職員ニーズを踏まえた職場環境づくりを行い、院内保育所の運営、健康管理、労働安全衛生を確保するなど「働きやすい病院」にしていきます。	- 多様な働き方の実現に向けて「短時間勤務制度」を実施。 - 医師の長時間労働の改善を目的とする「変形労働時間制」の検討及び試行。 - 全職員対象にストレスチェックを実施。 - 職場環境を改善するため、ハラスメント防止研修、暴力暴言等対策研修を実施。 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考え	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

	られる。			
【関連指標】				
項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績	
院内保育所の受入人数	25 人	33 人		

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり

(2) 職員のやりがいと満足度の向上

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	職員の成長やチャレンジを尊重するため、職員自身の能力開発や技術向上の取組を促進するとともに、職員の職責、勤務成績等を適正に評価する人事給与制度の設定、職員相互で認め合うコミュニケーションの活性化等により、職員の意欲を引き出し、満足度を向上させること。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
a 職員自身の能力開発や技術向上の取組を促進させるため、院内研修の充実や、職員の研修会等への参加支援を行います。また、職員の職責、勤務成績等を適正に評価する人事給与制度の構築、院内外が多職種が参加する研究発表会等による職員相互のコミュニケーションの活性化などを図るとともに、定期的に職員意識調査を行い、職員の意欲を引き出し、満足度を向上させます。	- 異なる職種同士のコミュニケーション向上を目的に、多職種連携推進会議、多職種合同研修を実施。 - 看護研究発表大会及びクオリティマネジメント報告会などの事例発表会の開催 - 資格取得に必要な費用を法人が負担し、認定看護師を追加。 - 職員満足度調査の実施。 - 人事評価制度について本格稼働に向けて取り組みを開始（事務職に試行） 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度に	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

b 職員の経営参画意識を高め、よりよい病院づくりに向けた取り組みを推進するため、病院の運営方針や課題についての職員間での情報共有や課題改善を検討するための会議を開催するとともに、課題改善の奨励に取り組めます。	おいても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。														
【関連指標】 <table><tr><td>項目</td><td>H28 実績</td><td>H29 実績</td><td>H30 実績</td></tr><tr><td>看護研究発表事例件数</td><td>15 件</td><td>16 件</td><td></td></tr><tr><td>全国自治体病院協議会事例発表件数</td><td>5 件</td><td>16 件</td><td></td></tr></table>		項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績	看護研究発表事例件数	15 件	16 件		全国自治体病院協議会事例発表件数	5 件	16 件			
項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績												
看護研究発表事例件数	15 件	16 件													
全国自治体病院協議会事例発表件数	5 件	16 件													

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 業務運営体制の構築

(1) 医療環境の変化に迅速・柔軟に対応できる体制の構築

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	医療環境の変化に的確に対応して目標を着実に達成するため、法人が主体性をもって迅速に意思決定、行動ができるよう、理事長及び理事会を中心とした効率的で効果的な組織体制を構築すること。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
理事長のリーダーシップと、理事会を組織することにより、迅速で明快なプロセスによる意思決定を行います。 また、組織体制の構築に当たっては、必要十分でかつ無駄のない組織体制とするとともに、戦略的な病院経営を企画・立案する機能を強化するための新たな部署を設置するなど、効率的で効果的な組織体制とします。 そして、組織体制は、医療環境の変化にに応じて、弾力的に改組します。	- 多職種が連携する経営改善プロジェクトの実施 - 経営改善プロジェクトの取り組みにより、新たな施設基準（薬剤業務実施加算など）を取得。 - 効率的な病院経営を実現する部署（経営課）を新たに設置し、7対1看護配置体制を早期に実現。 - 組織体制を弾力的に改組（総合相談センター、がん相談支援センターなど） 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 業務運営体制の構築

(2) 市民との連携・協働による病院運営の実施

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	市民の安心・安全を支える地域医療を存続させるためには、医療機関と市民との連携・協働が必要であり、静岡病院の運営においても市民との連携・協働を推進すること。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
地元自治会等と共同開催による市民公開講座の実施や、院内の患者誘導、移送等に係る市民ボランティアとの協働を進めるとともに、院内コンサートの実施等について、市民の協力を得た病院運営を行います。	・ボランティアとの協働による病院運営を実施（患者さんの誘導、移送（車椅子）、外来案内、精算機の説明、巡回図書、衛生材料づくりなど） ・デザイン専門学生の協力によるフラワーアレンジメントの設置。 ・近隣の学校の吹奏楽部によるクリスマスコンサートを実施 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

【関連指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
地元自治会等との共催事業	3 回	3 回	
ボランティア活動延べ人数	517 人	515 人	
院内コンサート	1 回	1 回	

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 業務運営体制の構築

(3) 外部評価等の活用

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	病院の運営管理や提供している医療等の情報について外部に公表するとともに、第三者の客観的な立場からの評価を受け、病院の運営体制の充実や医療の質の向上を図ること。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
病院の運営管理や提供している医療、臨床研修プログラムについては、「病院機能評価」や「臨床研修評価」を受審し、適正な病院経営・会計執行等については、監事による監査等を実施するなど、客観的な立場からの評価等を受けます。 また、医療の質の向上に係る院外での研修受講の推進や品質管理等の民間のスキルやノウハウを活かす方策の検討などにより、病院体制の充実や適切な病院経営に努めます。	・日本医療機能評価機構からの認定更新を控え、受審に向けて医療の質改善に向けた活動等を開始。 ・監事監査計画に基づく定期監査及び決算監査を実施。 ・提案箱に寄せられた市民の意見等について院内会議等で検討。 ・外部の医療コンサルによるセミナー等を職員向けに開催。 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 業務運営体制の構築

(4) 事務部門の強化

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	業務執行能力の高い組織を確立するとともに、医療経営や医療事務に係る専門的知識や使命感を持った人材の確保・育成を計画的に行うこと。
------	--

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
業務執行能力の高い組織を確立するとともに、医療経営や医療事務に係る専門的知識や使命感を持った人材の採用や育成を計画的に実施します。	- 他の医療機関等での勤務実績がある専門性の高い事務職員を法人職員として採用。 - 成果指標である派遣職員から法人職員への切り替え率について計画どおり目標値を達成。 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

【成果指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績
派遣職員から法人職員への切り替え率（事務職）	22.5%	50.0%	75.0%	

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

2 業務運営体制の構築

(5) 法令の遵守等

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	市立病院としての公的使命を適切に果たすため、医療法等の関係法令を遵守し、高い倫理観のもと、適正な病院運営を行うこと。
------	--

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
医療法や、健康保険法に基づく療養担当規則等の関係法令の遵守及び倫理意識の向上に関する研修等を職員に実施して、適正な病院運営を図ります。	・定款や職員給与などの各規程及び要綱について、院内ネットワークに掲示するなど職員に周知した。 ・法改正などに伴う各規程の制定・改定について理事会審議に諮った。 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 健全経営の維持

(1) 安定的な経営の維持

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
4	2		3	

中期目標	静岡病院が地域医療の核として、市民が必要とする高度で良質な医療サービスを継続して提供していくために、中期目標期間を通じて、経常収支を均衡させ、安定的な経営を維持すること。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
医療環境の変化に的確に対応しながら、収入の確保及び費用の節減を図り、市からの運営費負担金等の繰入後の経常収支を均衡させ、安定的な経営を維持します。	- 法人移行初年度（平成28年度）の収支は黒字（約4億5千万円）を達成。 - 平成29年度は費用増などの理由から収支は赤字（約2億円）。 - 平成30年度診療報酬改定に対応した経営改善プロジェクトによる収入確保策の実践（新たな施設基準の取得、算定率向上など）。 - 民間アドバイザーによる費用節減策（材料費の縮減など）を平成30年度も引き続き実践。 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においては計画を着実に実施する見込みであり、中期計画	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

	の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。			
【成果指標】				
項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績
総収支比率	102.2%	99.0%	100%以上	
経常収支比率	101.4%	99.0%	100%以上	
医業収支比率	97.4%	95.7%	96.0%以上	

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 健全経営の維持

(2) 収入の確保、費用の節減

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
4	3		3	

中期目標	経常収支の均衡のため、収入の確保及び費用の節減について、全ての職員がこのことを意識して日頃から取り組むとともに、診療報酬改定への的確な対応や地方独立行政法人のメリットを生かした多様な契約手法の導入による調達コストの削減など、様々な機会を通じて取り組むこと。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
a 収入の確保のため、以下の項目を実施します。 ア 収入の確保に向けた全職員対象の研修会等を実施 イ 診療報酬改定への的確な対応 ウ 人口減少社会における患者の安定的な確保 エ 査定状況等の傾向分析に基づく診療報酬の請求漏れや査定減防止策の関係者	収入確保策の実践 ・他病院の成功事例など職員向けのセミナーの開催 ・診療報酬上の加算となる施設基準の取得（「H28 実績 7 対 1 看護配置、病棟薬剤業務実施加算など」「H29 実績 総合入院体制加算2、透析液水質確保加算2など」） 費用節減策の実践 ・後発医薬品の切り替えについて目標値（後発医薬品指数）を大幅にクリア ・薬品費を抑制するため、民間アドバイザー同席による薬価交渉の強化により値引率の改善を図った。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

への周知 オ 未収金の圧縮（電話催告、外来面談等） ロ 費用の節減のため、以下の項目を実施します。 ア 後発医薬品の積極的な採用 イ 診療材料や医薬品について、市場調査に基づく価格交渉の実施や在庫管理の徹底 ウ 契約手法の多様化（長期契約、包括的一括契約等） エ 費用節減について会議等による全職員への周知・浸透	・診療材料費についても薬品同様に民間アドバイザー同席による値引き交渉を実践。 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。																												
【成果指標】 <table><tr><td>項目</td><td>H28 実績</td><td>H29 実績</td><td>H30 目標</td><td>H30 実績</td></tr><tr><td>病床利用率</td><td>90.9%</td><td>89.3%</td><td>95.0%以上</td><td></td></tr><tr><td>収納率（現年度分）</td><td>98.1%</td><td>98.6%</td><td>98.0%以上</td><td></td></tr></table> <table><tr><td>項目</td><td>H28 実績</td><td>H29 実績</td><td>H30 目標</td><td>H30 実績</td></tr><tr><td>後発医薬品指数</td><td>83.9%</td><td>85.6%</td><td>70.0%</td><td></td></tr></table>			項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績	病床利用率	90.9%	89.3%	95.0%以上		収納率（現年度分）	98.1%	98.6%	98.0%以上		項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績	後発医薬品指数	83.9%	85.6%	70.0%			
項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績																									
病床利用率	90.9%	89.3%	95.0%以上																										
収納率（現年度分）	98.1%	98.6%	98.0%以上																										
項目	H28 実績	H29 実績	H30 目標	H30 実績																									
後発医薬品指数	83.9%	85.6%	70.0%																										

【関連指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
入院患者数	165,836 人	162,928 人	
外来患者数	282,213 人	277,006 人	
手術件数	5,422 件	5,055 件	
平均在院日数	12.1 日	12.2 日	

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
給与費比率	47.5%	48.1%	
材料費比率	31.0%	31.3%	
経費比率	16.7%	17.3%	

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

1 健全経営の維持

(3) 計画的な投資の実施

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	医療機器や設備の整備・更新などの投資を行う際には、その投資効果を把握し、投資後の収支の見通しを立て、アセットマネジメント（資産管理）の観点も踏まえて計画的に行うこと。
------	---

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
医療機器の稼働状況や耐用年数、新たな医療機器の開発状況、他の医療機関における機器の整備状況などを踏まえ、投資効果や投資後の収支見通しやアセットマネジメント（資産管理）等を勘案し、主要医療機器の整備計画や、施設の整備・修繕計画を策定して投資します。	- 各診療科の整備計画に基づき、必要性、経済性などを精査し医療機器を購入 - 西館を中心に必要な修繕を実施 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。
【関連指標】				
項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績	
減価償却費比率	7.2%	7.7%		

第4 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとるべき措置

1 地球環境に配慮した病院運営

年度評価			中期目標期間評価	
H28	H29	H30	見込評価	期間実績評価
3	3		3	

中期目標	病院は、24 時間稼働し、また、電力を消費する医療機器やディスプレイ（使い捨て）材料を使用する等の特徴があるため、省資源・省エネルギー、廃棄物の減量、温室効果ガスの排出抑制など、地球温暖化対策の推進と資源の有効活用に取り組み、地球環境に配慮した病院運営を行うこと。
------	--

中期計画	実績及び法人自己評価		静岡市評価	
	取組、成果、課題、評価理由等	評価	評価	評価理由・特記事項等
環境負荷の少ない機器の購入、廃棄物の分別徹底、リサイクル推進による廃棄物の減量、ディスプレイ材料の見直し、地下水利用による水道使用量の削減、高効率機器の導入、機器の効率的な運転管理の実施等により、地球環境に配慮した病院運営を行います。	- 環境負荷の少ないLED照明に順次取替えを実施。 - 可能な範囲での照明の消灯及び間引きを実施。 - リサイクル推進に向けて、分別方法について業者との協議及び院内調整等に取り組み、分別対象範囲を拡大するなど、環境及びコスト削減を意識した病院経営を実践。 以上の取り組み及び成果などにより、平成30年度においても計画を着実に実施する見込みであり、中期計画の達成に向けて計画どおりに実施しているものと考えられる。	3	3	法人の実績見込に対し、評価「3」が適当である。

【関連指標】

項目	H28 実績	H29 実績	H30 実績
電気使用量	10,701,456KWH	10,591,290KWH	
ガス使用量	1,315,030 m ³	1,342,235 m ³	
水道使用量	97,333 m ³	99,374 m ³	

《 資 料 》

地方独立行政法人静岡市立静岡病院の業務の実績等に関する評価に係る基本方針

地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号。以下「法」という。）第 28 条第 1 項各号の規定に基づく地方独立行政法人静岡市立静岡病院（以下「法人」という。）の業務の実績等に関する評価（以下「評価」という。）は、以下の基本方針に基づき実施する。

1 評価方針

- （１）法第 28 条第 1 項各号の規定に基づく各事業年度における業務の実績に関する評価（以下「年度評価」という。）

当該事業年度における中期計画の実施状況の調査をし、及び分析をし、並びにこれらの調査及び分析の結果を考慮して当該事業年度における業務の実績の全体について総合的に評価する。

- （２）法第 28 条第 1 項第 2 号の規定に基づく中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績に関する評価（以下「中期目標期間見込評価」という。）

当該中期目標の期間における中期目標の達成状況の調査をし、及び分析をし、並びにこれらの調査及び分析の結果を考慮して当該中期目標の期間の終了時に見込まれる当該中期目標の期間における業務の実績の全体について総合的に評価する。

- （３）法第 28 条第 1 項第 3 号の規定に基づく中期目標に係る業務の実績に関する評価（以下「中期目標期間評価」という。）

当該中期目標の期間における中期目標の達成状況の調査をし、及び分析をし、並びにこれらの調査及び分析の結果を考慮して当該中期目標の期間における業務の実績の全体について総合的に評価する。

- （４）評価は次の観点から行うこととする。

- ①中期計画の内容が実施され、中期目標が達成されること
- ②法人の業務運営が適正かつ効率的に行われていること
- ③法人の組織及び運営の状況が住民に明らかにされていること

2 評価方法

- （１）年度評価

中期計画及び年度計画に記載されている項目別及び全体について、業務の実績を評価する。

なお、年度評価に係る評価基準等の詳細については、別途実施要領で定める。

①項目別評価

法人が小項目について病院の実績がわかるように自己点検・自己評価を行い、これに基づき市長は、当該事業年度における中期計画の実施状況を確認及び分析し、項目別（小項目及び大項目）に評価する。

②全体評価

市長は、項目別評価の結果を踏まえ、当該事業年度における業務の実績の全体に

ついて総合的に評価する。

改善すべき事項がある場合は、その旨を指摘する。また、必要があると認めるときは、法第 28 条第 6 項に基づく必要な措置を講ずることを命ずることとする。

(2) 中期目標期間見込評価

中期計画に記載されている項目別及び全体について、期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績を評価する。

なお、中期目標期間見込評価に係る評価基準等の詳細については、別途実施要領で定める。

①項目別評価

法人が小項目について病院の実績がわかるように自己点検・自己評価を行い、これに基づき市長は、当該中期目標期間中に行った年度評価も踏まえ、中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の達成状況を確認及び分析し、小項目ごとに評価する。

②全体評価

市長は、小項目評価の結果を踏まえ、当該中期目標期間における業務の実績の全体について総合的に評価する。

改善すべき事項がある場合は、その旨を指摘する。また、必要があると認めるときは、法第 28 条第 6 項に基づく必要な措置を講ずることを命ずることとする。

(3) 中期目標期間評価

中期計画に記載されている大項目及び全体について、業務の実績を評価する。

なお、中期目標期間評価に係る評価基準等の詳細については、別途実施要領で定める。

①大項目評価

法人が、大項目について病院の実績がわかるように自己点検・自己評価を行い、これに基づき市長は、当該中期目標期間中に行った年度評価も踏まえ、中期目標の達成状況を確認及び分析し、大項目ごとに評価する。

②全体評価

市長は、大項目評価の結果を踏まえ、当該中期目標期間における業務の実績の全体について総合的に評価する。

改善すべき事項がある場合は、その旨を指摘する。また、必要があると認めるときは、法第 28 条第 6 項に基づく必要な措置を講ずることを命ずることとする。

3 評価の進め方

(1) 法人からの報告書の提出

法人は、法第 28 条第 2 項の規定に基づき、各事業年度の終了後 3 月以内に、静岡市地方独立行政法人静岡市立静岡病院の業務運営等に関する規則第 8 の規定に基づき各報告書を作成し、市長に提出するとともに、公表するものとする。

(2) 評価の実施

市長は、提出された報告書に基づいて確認及び分析を実施し、総合的な評価を行う。

市長は、評価を行うときは、あらかじめ、地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価委員会（以下、「評価委員会」という。）の意見を聴くこととする。

なお、市長は評価に当たり、法人から意見又は説明を聴くことができるものとする。

(3) 法人への意見申立て機会の付与

市長は、評価結果の決定に当たり、評価結果案について法人から意見の申し立てがあった場合は、その機会を法人に付与することとする。

4 評価結果の活用

評価委員会は、法第 30 条の規定に基づく市長の法人の業務の継続又は組織の存続の必要性その他その業務及び組織の全般にわたる検討や、法第 25 条及び法第 26 条の規定に基づく市長の次期中期目標の策定及び次期中期計画の認可に関して意見を述べるときは、それまでに市長が行った評価結果を踏まえて意見を述べるものとする。

地方独立行政法人静岡市立静岡病院の中期目標期間見込評価に係る実施要領

地方独立行政法人法（平成15年法律第118号。以下「法」という。）第28条第1項第2号の規定に基づく地方独立行政法人静岡市立静岡病院（以下「法人」という。）の中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績に関する評価（以下「中期目標期間見込評価」という。）は、「地方独立行政法人静岡市立静岡病院の業務の実績等に関する評価に係る基本方針」に基づき、以下の要領により実施する。

1 項目別評価

中期計画における「第1」から「第4」までの事項について、法人が各項目の実績及び実績に係る自己評価等を記載した報告書（以下「業務実績報告書」という。）を作成して市長に提出し、市長はこれに基づき各項目の評価を行う。

（1）法人による自己評価

法人は当該中期目標期間中に市長が行った年度評価を踏まえ、中期計画に定めた小項目ごと自己評価を行う。

評価については、その評価理由を示すほか、必要に応じて特記事項等を付すこととする。また、最終年度に予定される事業等において、特に評価に影響を与えると認められる事項等がある場合は、当該事項を考慮して評価を行う。

[小項目評価基準]

「5」：当該中期目標期間見込評価を行う事業年度までに終了した各年度計画の実施状況が総合的に大幅に上回っている。

「4」：当該中期目標期間見込評価を行う事業年度までに終了した各年度計画の実施状況が総合的に上回っている。

「3」：当該中期目標期間見込評価を行う事業年度までに終了した各年度計画の実施状況が総合的に計画どおりである。

「2」：当該中期目標期間見込評価を行う事業年度までに終了した各年度計画の実施状況が総合的に下回っている。

「1」：当該中期目標期間見込評価を行う事業年度までに終了した各年度計画の実施状況が総合的に大幅に下回っている、又は実施していない。

（2）市長による小項目評価

市長は、法人の自己評価に基づき、当該中期目標期間中に行った年度評価も踏まえ、中期計画に定めた小項目ごとに、中期計画の実現に向けた進捗状況について評価を行う。

評価については、その評価理由を示すほか、必要に応じて特記事項等を付すこととする。また、最終年度に予定される事業等において、特に評価に影響を与えると認められる事項等がある場合は、当該事項を考慮して評価を行う。

評価基準は法人と同様とする。

2 全体評価

市長は、項目別評価を踏まえ、中期計画の全体的な進捗状況について、総合的な評価を記述式により行う。

また、改善すべき事項がある場合は、その旨を指摘する。また、必要があると認めるときは、法第28条第6項に基づき、法人に対し、必要な措置を講ずることを命ずることとする。

3 評価委員会からの意見聴取

市長は、前述の項目別評価、全体評価を行うときは、あらかじめ、地方独立行政法人静岡市立静岡病院評価委員会の意見を聴くこととする。